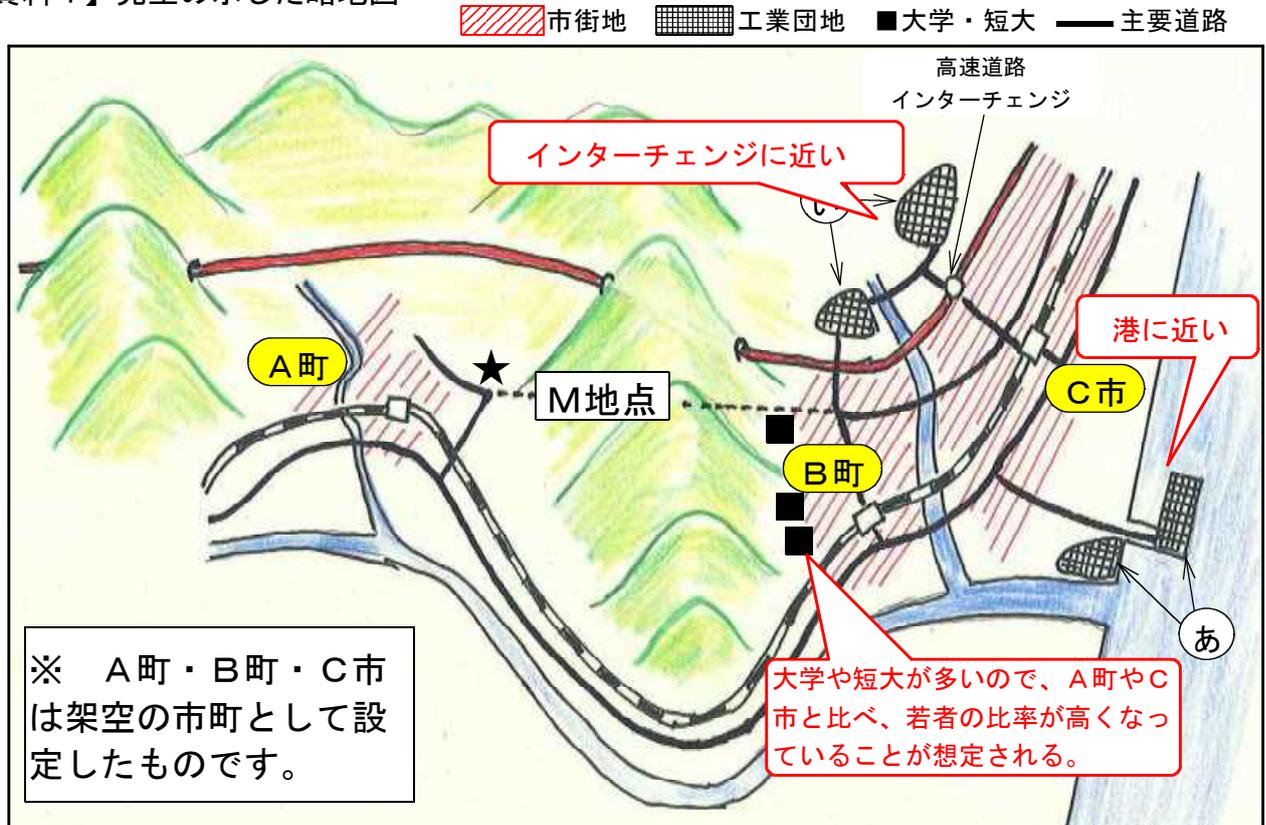


身近な地域の調査	()組	氏
	()番	名

A町にあるあきおさんたちの学校では、A町の調査学習の最終場面で、先生がB町やC市を含んだ資料1の略図や資料2のカードを提示し、A町の将来について考える学習が行われました。

【資料1】先生の示した略地図



【資料2】A町・B町・C市のようす

A町のようす	B町のようす	C市のようす
<p>基礎データ</p> <ul style="list-style-type: none"> ■人口 9000人 ■面積 20km² ■森林面積割合 70% ■事業所数 315 <p>その他の特色</p> <ul style="list-style-type: none"> ■C市まで車で40分かかる。 ■農業や林業がさかんで、桃やしいたけ、くりなどが特産品である。 ■年々人口が減っており、小・中学校は各1校、高校はない。 	<p>基礎データ</p> <ul style="list-style-type: none"> ■人口 3万人 ■面積 10km² ■森林面積割合 50% ■事業所数 9297 <p>その他の特色</p> <ul style="list-style-type: none"> ■C市のベッドタウンとして新興住宅地が急増しており、人口も増え続けている。 ■数年前に工業団地ができ、大きな企業も進出してきた。 ■大学・短期大学が3つある。 	<p>基礎データ</p> <ul style="list-style-type: none"> ■人口 20万人 ■面積 30km² ■森林面積割合 30% ■事業所数 19108 <p>その他の特色</p> <ul style="list-style-type: none"> ■地域の中心都市として、近隣の市や町を含んだ商業圏を形成している。 ■人口もわずかずつであるが増え続けており、小学校や中学校、高等学校の数も多い。

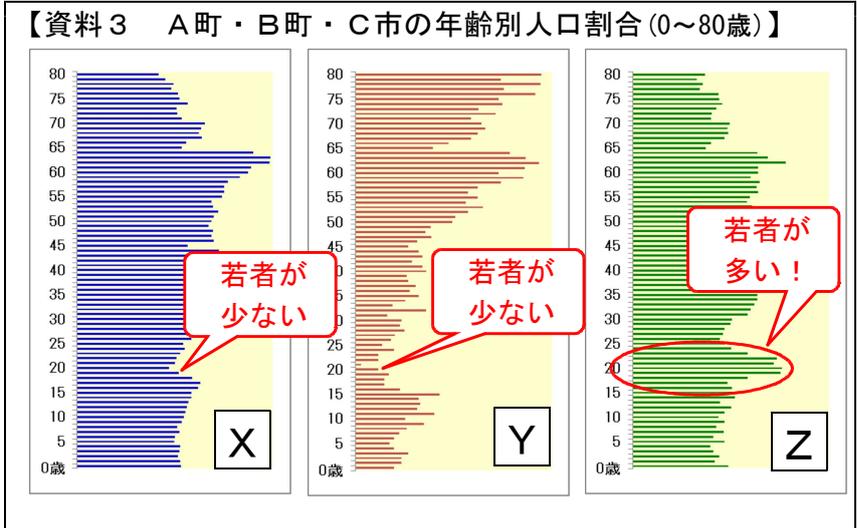
(1) C市やB町に、㊸や㊹の工業団地を踏まえて、資料1の地図から読み取って答えなさい。

㊸は港に近く、㊹は高速道路のインターチェンジに近いので、原料や製品を輸送するのに便利だから。

(2) 右の【資料3】は、A町、B町、C市のいずれかの年齢別人口割合を示したグラフである。

【X】～【Z】のうちB町を示したグラフはどれかを記号で答えなさい。

また、そう判断した理由を、【資料1】～【資料3】から読み取れる情報をもとに答えなさい。



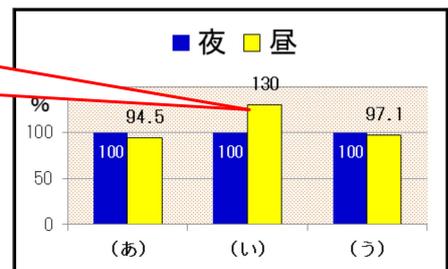
記号	理由
Z	B町には大学が3つあるため、大学生がたくさん住んでいると考えられる。Zのグラフだけが19~23歳の人口比が多いので、B町のものと判断できる。

資料2より、C市は事業所が多いことや、B町がC市のベッドタウンであることが分かる。よって、昼間人口の多い(い)がCであると判断できる。

C市のものはどれか、(あ)～(う)のうちから1つ選び、記号で答えなさい。

記号
(い)

【資料4】昼夜別の人口割合



(4) 【資料1】中の、A町とB町を結ぶM地点には、3年後にトンネルが開通する予定であり、トンネルが開通すればA町からC市へ15分で行けるようになります。

① 多くのA町住民はトンネルの開通を楽しみにしていますが、A町で商店を営んでいる人たちは、トンネルの開通に不安を抱いています。A町の商店経営者がなぜ不安を抱いているのか、トンネル開通がもたらす消費者の行動を予測して書きなさい。

(例) B町やC市には大型の商業施設が多いと考えられるが、A町からC市への移動時間が短くなると、A町の消費者がC市へ買い物に行くようになり、A町の商店の売上げが落ちることが想定されるから。

これまでの生活経験や消費行動などをもとに、推測する力が必要です。

② また、トンネル開通後は、★の地点に「道の駅A町」がつくられる予定になっています。あきおさんたちは、「道の駅A町を利用したA町の活性化作戦」を考え、A町役場に提言することになりました。あなたなら、どのような提言をしますか。

(例) ・★の道の駅内に温泉のある施設を建設し、C市からの利用者を誘致する。
・A町の特産品である桃やしいたけ、くりなどを使った加工品などを開発し、★の道の駅内で販売する。

あくまで「例」であり、正解はありません。これまでの学びを踏まえ、社会参画の視点から提言することが大切です。

など